

Enhavo .....	1
皆で語ろうエスペラント..... 大和田さち..	2
藤本達生のエス文法教室..... 藤本達生 ..	5
通信添削講座模範解答 .....	裕 大福.. 8
通信添削問題 .....	11
藤本達生の続きもので読みもので .....	藤本達生 .. 12
海外特派員ページ .....	Wu Guojiang.. 22
EPA事務局便り .....	26
Lasu al mi ion diri! .....	29
EPA支部便り .....	30

2006年4月 新規・継続会員

新規 普通会員：北村吉平（石川）

Multan dankon kaj bonan kunlaboron!

継続

普通会員：中原榮子、森田陸、浅田弘子、矢野義男、藤本三千恵、高田絹枝、松本達也（大阪）、田中千加、小池智子、饗庭三泰（東京）、加賀見明男、稲村文一郎、川村泰範、尾崎泰良、奥脇俊臣、桂彌生、駒形康義、西山芳、近藤茂利夫（京都）、石田千恵、大渡美智子、田中聡至（神奈川）、外山弥生、堀和子、森テル子（愛知）、松下太三郎、栃崎大（和歌山）、三澤邦子（山形）、田中健一（滋賀）、平井宏（愛媛）、出射長治（岡山）、松村初雄（香川）、ジョエル・プロゾフスキ（アメリカ）

家族会員：稲村貞子、川村雅代（京都）、森満政（愛知）

.....  
 ● 表紙の解説 (Klarigo pri kovrila bildo) ●  
 ● 出口 瑞 (DEGUĈI Micugi) ●  
 ● 「陶片と花」 "Ceramika peco kaj floro" ●  
 ● .....

## 皆で語ろうエスペラント

### ゼロからの冒険 - ペラペラへの近道！？ ～ 小冊子『Pasporta Servo』のおすすめ～

Learn at your own pace! One minute, another lesson begins!



大和田さち 大本本部編集部員

#### 『Pasporta Servo』との出会い

それは8年前のこと。ちょうどその年の夏に、フランスのモンペリエで第83回世界エスペラント大会が開かれる時だった。私は、「少しエスペラントを習って大会に参加してみようかな」という軽い気持ちで学習を始めたばかりで、東京で行われたエス講習会に参加し、そこで偶然居合わせたエスペランティストに、この小冊子の活用を勧められたのだった。

『Pasporta Servo (パスポルタ・セルボ)』とは、約80カ国の1,000人以上の宿泊提供者(ホスト)が登録されている名簿。エスペラントを話す旅行者を、リストに載っている各国のエスペラント使用者が自宅に泊めるというホームステイネットワークができています。

ホスト別に「何人以内で何日間宿泊可能」など条件がある。食費を条件付けるところもあるが、宿泊費を取ることはなく、ほとんどの家族が、その国や地域の郷土料理でご馳走してくれる。

「なんて出来の良すぎる話だ」と思う方もいるかもしれない。しかし、なかにはこんな条件もある。「お酒を飲む人歓迎：飲酒厳禁：おしゃべりな人を求む：寝袋持参：子供が好きな方」などなど。

たった数行の条件とその後の手紙のやり取りでお世話になる家族と気が合うか見極めなければならないのだから、温室育ち？で、きれい好き？で、お人好し？な私たち日本人には、ちょっと用心が必要かも。

#### 初っぱなからハプニング

しかし当時、自己紹介すらろくにできない私は、いつの間にかエスペラントがペラペラになり、しかもお金がかからないという夢の

## 皆で語ろうエスぺラント

ようなその話に飛びついた。

早速、数家族に手紙を書き、約3カ月間、世界大会が開催されるモンペリエをはじめとする8カ所、7家族にお世話になる予定を立てた。そのうち5家族は学校の先生や元教師の方々。残りの2家族は、農業を営んでいた。

ところが、旅支度が整い出発まで数週間という時に、約1カ月お世話になる予定のホストと、電話、FAXなどすべての連絡が途絶えた。日本では考えもつかないハプニングに、「現地に行けば、なんとかなるだろう」と進展主義・楽天主義で臨み、出国した。



その1998年は、フランスがサッカーのW杯で優勝し、日本では小淵恵三首相が誕生した年だった。私にとっては、この無謀な一人旅によって、エスぺラントとは切っても切れない関係になったように感じている。

### 体験の徳

結局、私は21カ所の都市、地方を巡り、17世帯の家族を訪ねた。出発前に連絡が途絶えたホストは、やはり連絡がつかず、私は現地に着いてからも毎日、『パスポルタセルポ』を使い、電話で直談判をした。その甲斐あって、「覚えた単語を即使う」ことには慣れた。

中でも忘れもしないのが、南仏・ペルピニャンに住んでいるポーランド人の夫・Nさんとルーマニア人の妻Aさんの所に滞在したことだ。二人は、エスぺラントを通じて知り合い、日常会話はすべてエスぺラントだ。

Nさんは大変な酒飲みで夜な夜なアルコール度数52°のお酒を飲み、大声でAさんと話し、時には喧嘩もする。旅も2カ月が経っていた私は、運悪く彼らの会話がほどほど理解できてしまった。

## 皆で語ろうエスペラント

LAST AT THE TOP OF THE OCEAN WITH THE BROTHERS

ある日、Nさんは事故を起こし、乗っていたバイクが破損した。その夜はこれまでになく彼は怒鳴り声をあげ、Aさんはバイクの修理代が無いと言って泣き叫んだ。しばらくして、どうやら話題は私の事になり、私から修理代をもらおうと言うのだ。毎夜眠れないという疲れと修理代を請求されることに呆れて、言うまでもなく私は翌日、食費のみAさんに渡し、彼らの元を後にした。



その後、私は4歳になるかわいらしい女の子がいる家族を訪ねた(写真左)。その家で私は、前述のNさんの写真が壁に貼られているのを目にした。

奥さんのフランシスさんに、「この男の人はとんでもない大酒飲みです！なぜ、写真なんか貼るの？」と訪ねた。

フランシスさんは、「あなたが彼らを訪れる前に私の家に来なかったことが残念だわ。私の所に来たエスペランティストに、彼には注意するように教えているの」と。

たった1冊の本との出会いは、20歳の私に、文化・習慣の違いや、たくさんの人情など、貴重なことを教えてくれた。自分はずっと一人の人間に過ぎないが、一人一人のつながりが波紋のように広がり「エスペランタ・モンド(エスペラントの世界)」を形成しているのだと感じた。

旅で出会ったエスティストたちとの別れ際の合い言葉がある。「Mi revidos vin en la esperanta mondo!  
(ミレヴィードス ヴィン エン ラ エスペランタ モンド！/また、エスペラントの世界で会いましょう!)」

どこの国で会うのかは分からないが、次に再会するのも、きっとエスペランタ・モンドであることを誰もが願っていた。

エスペラントの学習を始めたばかりの方でも、余暇と冒険心があるのならこの小冊子を片手に、勇気と注意をもってエスペランタ・モンドを旅することをお勧めします。

## 藤本達生のエス文法教室

### PLENA GRAMATIKO DE ESPERANTO

いわゆる 16 力条の文法について

講師 藤本達生

5 月号の続き

3) の 4

Ĉe la komparativo oni uzas la konjunkcion ol.

比較に際しては接続詞の ol が使われる。

Li estas pli rapida, ol mi. 彼は私より速い。

Ŝi estas pli bela, ol mi. 彼女は私よりも(いっそう)美しい。

7) の 1

La adverboj finiĝas per e.

副詞は e で終わる。

Bone, bele, rapide など。

7) の 2

Gradoj de komparado kiel ĉe la adjektivoj.

比較の程度は形容詞の場合と同様。

Pli bona, pli bone, pli bela, pli bele, pli rapida, pli rapide など。

8)

Ĉuj prepozicioj per si mem postulas la nominativon.

すべての前置詞はそのものとしては、つまり他に理由がなければ、主格を要求する。

per helpo であって helpon ではない。

sur la antaŭlasta であって antaŭlastan silabon ではない。

13)

Por montri direkton, la vortoj ricevas la finiĝon de la akuzativo.

方向を示すためには単語は対格の語尾をとる。

Kie どころ、kien どころへ、tie そこ、tien そこへ、en la mondon (よそから) 世界の中へ、sur la tablon テーブルの上へ、など。

## 藤本達生のエス文法教室

### 5) の 1

Pronomoj personaj: mi, vi, li, ŝi, ĝi (pri objekto aŭ besto), si, ni, vi, ili, oni.

人称代名詞は、わたし、あなた、彼、彼女、それ（物または動物について言う）、自身（再帰）、われわれ、あなたがた、彼ら、彼女ら、それら、人びと。

### 5) の 2

La pronomoj posedaj estas formataj per la aldono de la finiĝo adjektiva.

所有代名詞は形容詞語尾を付け足すことによって形成される。

mia, via, lia, ŝia, ĝia, sia, nia, via, ilia, onia（あまり使われないが）

### 5) の 3

La deklinacio estas kiel ĉe la substantivoj.

格による語形の変化は名詞の場合と同様。

mi, mia, min, miaj, miajn など。

### 12)

Ĉe alia nea vorto la vorto ne estas forlasata.

他の否定の語がある場合は、ne という単語は使用されない。

もともと一語で否定を表わす単語たとえば nenio, neniu, nenie（何もない、誰もいない、どこでもない等）の場合は、それ自体が否定文となるので、さらに ne は使わないということ。

En la botelo estas nenio.

ボトルには何も入っていない。

言い方としては、何もないものが入っている、となる。

### 4) の 1

La numeraloj fundamentaj (ne estas deklinaciataj) estas; unu, du, tri, kvar, kvin, ses, sep, ok, naŭ, dek, cent, mil.

基本数詞（格変化はしない）は、1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 100, 1000 である。

## 藤本達生のエス文法教室

### 4) の 2

La dekoj kaj centoj estas formataj per simpla kunigo de la numeraloj.

10 および 100 の位は数詞の単なる結合で形成される。

dek unu, dek du, dek tri, . . . dek naŭ, dudeku, dudek unu, . . .  
nadek naŭ, cent, cent unu, . . . naŭcent naŭdek naŭ, mil のように。

### 4) の 3

Por la signado de numeraloj ordaj oni aldonas la finiĝon de la adjektivo.

序数の表記としては形容詞の語尾を付け足す。

unua, dua, tria, . . . deka のように。一番目の、二番目の、三番目の、. . . 十番目の、のように。

### 4) の 4

Por la multoblaj la sufikson obl.

倍数には接尾辞の obl を。( duobla 2 倍の、 triobla 3 倍の ) など。

### 4) の 5

Por la nombroj -on.

分数には接尾辞の on を。( duono 1/2, triono 1/3 )

### 4) の 6

Por la kolektaj -op.

集合には接尾辞の op を。( kvaropo 4 人組、 kvinope 5 人連れで )

### 4) の 7

Por la disdividaj la vorton po.

分割には po という単語を。

Ni ricevis hodiaŭ po du tomatoj. われわれは今日トマトを二つずつもらいました。

### 4) の 8

そのほかに、名詞的および副詞的な数詞が使われることがある。

duo デュオ、trio トリオ、miliono 百万などがあり、unue まず、due 次に、trie 三番目に、などとも言う。

2006年3月号問題

初級

A . 次の文をエスペラントにしてください。

- 1 . 彼はどこへ行ったか。
- 2 . ここへ来なさい。
- 3 . それはどこかへ飛び去った。
- 4 . 彼は上へあがって来た。
- 5 . 彼は家へ帰って行った。

B . 次の文を日本語にしてください。

- 1 . Anstataŭ la vorto "je" ni povas ankaŭ uzi akuzativon sen prepozicio.
- 2 . Mi ridas je lia naiveco.
- 3 . Je la lasta fojo mi vidis lin ĉe vi.
- 4 . Mi veturis du tagojn kaj unu nokton.
- 5 . Je la sesa matene mi vekigis ĉiutage.

中級

A . 次の文を日本語に訳してください。

Tamen-

"Ĝi estas iom bruna, kaj ja portas verukojn. Ĉu rano ne devus esti verda kaj glata? Eble ĝi estas bufo",  
sugestis Jano dubeme.

"Ne", diris Kol, kiu ne ŝatis bufojn.

"Ne", ripetis la onklo. "Ho ne, Jano. Ne, ne. La haŭto estas iom seka. Nur tial".

"Nu, ĝi ja saltetis; kaj bufoj nur krablas, ĉu ne?"

Jano jam ekcedis.

B . 次の文をエスペラントに訳してください。

けれども、地域研究については、研究者は、たとえばネパール語(地域言語)を修得してもネパール人(地域共同体の一員)にはなれませんが、エスペラント言語共同体については、エスペラントを修得することでその共同体の一員と



みなされます。わたしはエスペラントを学び始めてまだ一カ月も経っていない頃に、エスペラント界からその言語共同体の一員として迎え入れられ、戸惑いを覚えました。そして、エスペランティストとはどのような人びとを指すのかを考えるようになったのです。(『言語的近代を超えて』山本真弓(やまもと・まゆみ)編著、臼井裕之(うすい・ひろゆき)・木村護郎クリストフ(きむら・ごろうくりすとふ)著から)

## 模範解答

2006年3月号問題

初級 A.

1. Kien li iris?
2. Venu ĉi tien.
3. Ĝi forflugis ien.
4. Li venis supren.
5. Li reiris hejmen.

B.

1. "je" という単語の代わりに、前置詞は無しで目的格(語尾に -n をつけたもの)を使うことができます。
2. 彼の無邪気さ(世間知らずなこと)を私は笑っている。
3. 先日、あなたところで私は彼に会いました。
4. 私は一晩と二日の間、乗り物に乗っていました。
5. 私は毎日、朝6時に目覚めます。

中級 A.

しかし、「それは少し茶色がかって、いぼいぼがあるんだ。カエルは緑色で、つるっとしていなくてはならないのだろうか。たぶん、それはひきがえるだと、ヤーノは疑いっぽく、それとなく言いました。

「ちがうよ」と、ひきがえるを好かないコールは言いました。

「ちがうよ」と、おじさんは繰り返しました。「いいや、ちがう、ヤーノ。ちがう、ちがう。その皮膚は少し乾いている。そのためだけだ」

「そうだ、そのカエルはピョンピョンとんでいたけれど、ひきがえるはそのそ歩くだけだ、そうだよね」とヤーノは、すでに譲歩しはじめていた。

B .

En la kazo de esplorado pri iu regiono, kiam la esploranto fariĝas bonaparolanto de tiu regiona lingvo, ekzemple de la nepala lingvo, tamen li ne povas esti membro de tiuregiona komunumo. Sed en la kazo de la lingva komunumo de Esperanto, oni rekonas lin kiel membro de la komunumo per gajno de la lingvo Esperanto. Kiam mi lernis Esperanton apenaŭ en unu monato, mi jam estis akceptata kiel membro de la lingva komunumo Esperantujo, tio donis al mi konfuzon. Kaj post tio mi pensis, kiajn personojn oni nomu esperantistoj.

(El "Trans la moderna epoko lingveca" kompilis kaj verkis JAMAMOTO Majumi; verkis USUI Hirojuki, KIMURA Goro Christoph)

## 解説

初級 A .

名詞の語尾が -o で終わっているもの (複数形は -oj) を主格といい、-on (複数形は -ojn) で終わっているものを目的格 (対格としているものもあります) といいます。

エスペラントでは、この二つの格があります。

言語によっては、もっと多くの形に変化するものもあり、「格の数が三つある」とか、「六つある」とかあります。

エスペラントでは、前置詞の後の名詞は主格 (-o, -oj) です。

英語は、前置詞の後の名詞は目的格になります。

英語の一般名詞は主格も目的格も同じ形なので、見た目は変わりませんが、人称代名詞は主格と目的格は形がちがうので、はっきりします。

例えば I received it from she. とはいわず、I received it from her. といいます。

エスペラントで、前置詞の後に -on(-ojn) の形の名詞があるときは、その名詞の前に前置詞があるからではなく、他の理由によります。すなわち方向を表す前置詞 al が省略されているときです。

Aŭto kuris en placon. の en placon がそれです。

初級 A は、副詞の語尾に -n がついている形です。

この場合も、方向を表す前置詞 al が省略されて、-n がついています。

Kien vi iras? は、Al kie vi iras? ということです。

初級 B .

前置詞 je は、もともとは、どの前置詞を使っていいかわからないときに使うことができる前置詞ですが、現在では、時刻 : je la oka (八時に) 長さ・高さ・重さなどについて「ほど、だけ、くらい」: longa je ses metroj (この場合 je を使わないで ses metrojn longa ともあります) などと使います。

# 通信添削問題

2006年6月号問題

初級

A . 次の文をエスペラントにしてください。

- 1 . いつでもお越しくください。
- 2 . どなたでもご利用できます。
- 3 . どこへでも行きます。
- 4 . ご寄付はどれだけでもかまいません。
- 5 . どのような方法でもよいから、その町へたどりつけ。

B . 次の文を日本語にしてください。

1. Ne diru neajn vortojn.
2. Mi legis grandan serion da poemoj.
3. Li ellernis la gramatikojn.
4. Kia estas la koloro?
5. Kiajn fruktojn vi plej ŝatas?

中級

A . 次の文を日本語に訳してください。

"Ĉu ĝi mordas?", demandis Kol.

"Jes, jes, ĝi mordas. Ĝi ne nur mordas, Kol, sed ankaŭ enkraĉas fajron en la vundon. Ho, la rano estas nobla besto kompare kun la bufo, knaboj, kaj tre inteligenta, tre inteligenta"..

Sekvis rakontoj ilustraj pri la inteligento kaj dreseblo de la rano, kiuj distris la knabojn ĝis la falĉado finiĝis.

B . 次の文をエスペラントに訳してください。

トルコにおけるチャイ以前の代表的な嗜好飲料は、コーヒーである。コーヒーの原産地であるエチオピアにおいては、はやくからコーヒーの葉や豆を煎じて薬用とする習慣があった。コーヒーがアラビアの地をこえてひろく嗜好飲料として世界に拡大してゆくのは、オスマン帝国の時代である。オスマン帝国は、一六世紀にアラビア半島からエジプトにかけての地域を支配下におさめる。一七世紀初頭には、オスマン帝国の首都コンスタンチンノーブル(イスタンブール)に世界最初のコーヒーハウスが出現する。(『みんなく』2005年5月号から)

宛先 〒621-8686 京都府亀岡市天恩郷  
エスペラント普及会 誌上講座通信添削係  
(返信用封筒に切手を貼ってお申込み下さい)





Tacuo Huĝimoto:<<Felietone Feritone>>

## Lins parolas pri Grabowski Premio kaj Ito Kanzi

B: La Universala Kongreso en Vilno estis la okazo por deklari la laŭvicajn premiojn de la fondaĉ Grabowski, aŭ subvenciojn de la fondaĉ Grabowski. Mi tre ĝojas, ke ni interparolas kun Ulrich Lins. Komence tamen en iu tre bedaŭrata, kiel dirus niaj japanaj geamikoj, situacio, ĉar la fondinto aŭ la subvencianto de la fondaĉ, Adam Goralski, antaŭ la Universala Kongreso forpasis. Ĉu kelkajn vortojn pri la fondaĉ [vi povus diri]?

L: Jes, la fondaĉ estis fondita antaŭ eble dudeko da jaroj, kaj fakte la menciita s-ro Goralski estas la mecenato de la fondaĉ. Li donis la komencan sumon kaj petis, ke UEA uzu tiun monon kuraĝigi junajn verkistojn kaj por ĝenerale stimuli la disfloron de la Esperanta kulturo. Tio signifas, ke la fondaĉ Grabowski tra la jaroj disdonis tiel nomatajn premiojn, precipe al individuoj kaj alian kategorion nome tiel nomatajn subvenciojn ĉefe al eldonejoj, kiuj laŭ ni montriĝis indaj je tia distingo. Ni premiis jam sufiĉe multajn homojn kaj instituciojn. Estas bone nun listigi ilin, sed meze ĉiam 2-an jaron, ni anoncis dum Universala Kongreso niajn decidojn. Do eble estas menciinde, ke "Litova Stelo", do la organo de la landa asocio, kiu organizis tiun ĉi kongreson en Vilno jam antaŭ kelkaj jaroj ricevis la premion, kaj ankaŭ "Litova Esperanto-Asocio" mem kiel eldonejo estis distingita, ĉar ni laŭdis ĝian elstaran agadon per la eldonado de nacilingvaj, do litovlingvaj libroj pri Esperanto.

Ĉiukaze ankaŭ la fama ĉina poeto kaj tradukisto Laŭlum ricevis premion de fondaĉ Grabowski. Ni klopodis ĝenerale konsideri ankaŭ ekstereŭropajn kontribuantojn al la Esperanta kulturo.

Do, mi esperas, ke ankaŭ la rezultoj de la ĉi-jara selektado trovos la aprobon kaj estos komprenataj kiel stimulo por plua verka kaj eldona agado. Ĝuste laŭ la origina celo de la mortinta mecenato.



藤本達生の『続きもので読みもので』

## リンス氏、グラボウスキ賞と伊東幹治について語る

(今回はポーランド放送 2006 年 1 月 27 日放送分より掲載しました。テープ起こしは原田秀樹さん。文中の B はポーランド放送のバルバラ・ピエトシャクさん、L はエスペラント史家のウルリッヒ・リンスさんです。)

B: ビリニウスでの世界大会はグラボウスキ基金のその年度の各賞金または奨励金について発表する機会になりましたね。私はリンスさんとお話ができ、大変嬉しく思っています。初めは、しかしながら、日本の友人たちなら言うと思いますが、ある非常に残念な状況にあります。と言いますのは基金の創設者にして資金提供者のアダム・ゴラルスキさんが、この世界大会を前にしてご逝去されたからです。この基金について何かお話していただけますか。

L: そうですね、基金はおそらく 20 年程前に創設されました。そして事実上、先程のゴラルスキさんが基金のメセナ(古代ローマの政治家で文芸の擁護者メセナの名前に由来して、文化・芸術を支援する人)でした。この方は最初の資金を提供し、UEA が若い作家たちをはげまし、またエスペラント文化の開花を全般的に奨励するために、そのお金を使うように依頼したのです。その意味は、グラボウスキ基金は何年にもわたって、いわゆる賞金を特に個人に授賞し、これとは別種の、つまり奨励金を主としてそのような顕彰に値すると思われる出版社にあたえて来た、ということです。私たちはすでに、かなり多くの人びとや団体に授賞してきました。今、その人たちをリストアップするのはいいことだと思いますが、しかし平均して常に 1 年おきには世界大会の席で私たちの決定を発表してきました。ここで言及すべきことでしょうか、『リトアニアの星』誌、つまりビリニウスの大会を組織したリトアニア協会の機関誌ですが、これもすでに数年前に受賞しましたし、「リトアニア・エスペラント協会」自身も出版社として顕彰されました。理由はエスペラントに関する国語すなわちリトアニア語の本の出版による卓越した活動を私たちが賞賛したからです。

それから、有名な中国人の詩人で翻訳家のラウルムさんもグラボウスキ基金の賞金を受けています。エスペラント文化へのヨーロッパ以



Tacuo Huĝimoto:<<Felietone Feritone>>

B: Ĉu estas iu distingito, kiu partoprenis la beletrajn konkursojn?

L: Do, multaj iamaj distingitoj de la belartaj konkursoj poste iĝis premiitoj de fondaĉo Grabowski, do kiel partoprenantoj en la belartaj konkursoj ili ankoraŭ ne estas eble indaj je la premio. Sed kompreneble venko en belartaj konkursoj signifas kuraĝigon kaj la venonta ŝtupo, tiam povas esti premio de fondaĉo Grabowski.

B: Ĉu la morto de la mecenato povas ŝanĝi ion en la funkciado de la fondaĉo?

L: Eble jes, en la pasinteco pri ĉiu ŝanĝo, eĉ malgranda, ni devis demandi al s-ro Goralski. Tio praktike ne estis tre facila, ĉar li kutimis vivi foje en Pollando, foje en Venezuelo, foje en Kanariaj Insuloj. Kaj kiam mi decidis skribi al li ion, mi neniam sciis, al kiu adreso mi skribu. Ni ankaŭ devas aldoni, ke mi jam rimarkis, ke por li skribado de letero, eĉ kun la helpo de la edzino, estis granda peno en la finaj jaroj de lia vivo. Kaj fakte jam je miaj lastaj 2, 3 leteroj mi ne plu ricevis respondon.

Mi bedaŭras, se mi nun donas la impreson, ke la morto iusence estas faciligo, sed eble estus tute en la senco de la mecenato, se ni daŭrigos lian entreprenon. Ni tute trankvile diskutos, kiel ŝanĝi la regularon, eventuale kiel adapti ĝin al estontaj bezonoj, sed tion ni ne faros haste.

B: Koran dankon pro tiuj ĉi informoj koncerne la fondaĉon Grabowski.

Certe la 2005a jaro, estas jaro de jubileo, sed ankaŭ jaro de fortaj frapoj. Iu el tiuj frapoj estis la forpaso de Ito Kanzi.

L: Jes! Do Ito Kanzi ne estis premiito de fondaĉo Grabowski por la simpla fakto, ke la dimensio de lia verko estis tiel granda, ke la relative modestaj premioj de fondaĉo Grabowski ne ludus rolon, aŭ ne estus adekvataj. Sed Ito Kanzi dum sia vivo ricevis la premion de FAME-fondaĉo, kiu estas sufiĉe alta sumo kaj antaŭ 2, 3 jaroj, interalie helpe de mia interveno, la usona "Esperantic Studies Foundation" ankaŭ donis subvencion al



## 藤本達生の『続きもので読みもので』

外からの貢献者のことも広く考慮するように気を遣って来ました。

で、本年度の選考結果も賛同を得られるものと思っていますし、さらなる著作ならびに出版活動のための奨励として理解されることでしょう。これは正に、いまは亡きメセナの本来の目的に叶うものです。

B: どなたか受賞者で文芸コンクールに参加した人は?

L: あ、文芸コンクールの多くのかつての受賞者がのちのグラボウスキ基金の受賞者になりましたね。つまり、文芸コンクールの参加者としては、この人たちはまだおそらくグラボウスキ基金には値しなかったのでしょうかね。しかしもちろん、文芸コンクールに入選することは励みになりますし、次のステップはグラボウスキ基金の賞であるかも知れません。

B: メセナが亡くなられたことは、基金の運営において何かを変えることになりますか。

L: おそらくそうなるでしょうね。過去においては全ての変更について、ほんのわずかな場合でも私たちはゴラルスキさんに問わねばならなかったのです。このことは実際問題として、たやすいことではありませんでした。と言いますのは、ゴラルスキさんは時にはポーランド、時にはベネズエラ、時にはカナリア諸島で生活する習慣があったからなのです。それで、何かのことで手紙を書こうと決心してもどの住所に出せばいいのかわかりませんでした。またこれはつけ加えるべきことですが、ゴラルスキさんにとって手紙を書くことは、夫人の手助けがあっても、晩年では大変な努力がいることだったのです。そして事実、私が出した最後の2、3通の手紙には、もはや返事はいただけませんでした。

その死が仕事をしやすくするとの印象を、もし私が与えているとすれば申し訳なく思いますが、しかしおそらく、ゴラルスキさんが創設された事業を私たちが継続するならば、まったくメセナの意に沿ったことになるのではないのでしょうか。私たちはまったく冷静に議論し、規約をどのようにして変更するか、場合によってはそれをどのように将来の要請に適應させていくか等、考えていくでしょうが、早まってそうすることはないでしょう。

B: グラボウスキ基金についていろいろとお知らせ下さり、どうもありがとうございました。





## Tacuo Huĝimoto: <<Felietone Feritone>>

Ito Kanzi, kiu ebligis al li eldoni, la du restantaj volumojn de lia verkaro de Zamenhof.

Kvankam li investis tra sia vivo multege da mono en tiun volumaron, en la fino elĉerpiĝis lia poŝo, kiel li mem formulis. Estis la danĝero, ke eĉ tiuj gravaj volumoj ne aperos, sed feliĉe dank' al ĉi tiu usona fondaĉo, ili povis aperi. Kaj mi aŭdis, ke li ĝis la lasta tago de sia vivo laboris ankoraŭ super aliaj eldonaĉoj. Mi kredas, ke ĉefe li laboris sur iu gvidilo tra la verkaro de Zamenhof, ĉar kiel ajn admirinda estas lia laboro, la rezulto estas grandega, kaj oni ne facile orientiĝas, do se oni volas trovi iun difinitan paroladon aŭ tekston de Zamenhof, iun leteron, kiun li skribis al ni, ni diru al Grabowski, estas iom malfacile trovi tion inter la preskaŭ 60 volumoj. Do, ni bezonas gvidilon tra la verkaro de Zamenhof. Kiel dirite li okupiĝis pri tio, eble ĝis la lasta tago de sia vivo kaj mi nun esperas, ke la japanaj esperantistoj finos tiun laboron.

B: Tio estas vere bonvenigenda, ĉiukaze. Mi memoras, ke kiam mi estis unu el verŝajne lastaj gastoj, kiujn li akceptis li ja kun ridetanta vizaĝo, kvazaŭ aludis, jes li finis sian verkaron, sed la temo ligita kun la kongreso la unua kongreso en la 1905a jaro, estis en la centro de lia atento.

Do konklude, vi estas historiisto, sed vi ankaŭ estas Ulrich Lins persono ĝuste envolvita en la kulturalan agadon, kaj tiu verkaro de Ludovikito estas escepta trezoro kaj por la esplorado de la historio, sed ja ankaŭ kontribuo al nia esperanto-kulturo.

L: Jes, oni ne povas sufiĉe aprezi, sufiĉe laŭdi. Mankas fakte vortoj por adekvate priskribi la meriton de Ito Kanzi. Mi tra kelkaj jardekoj observis lian agadon.

Kiam mi estis studento en Tokio, mi voĵvizitis Kioton kaj hazarde eksciis, ke tie estas unu esperantisto, kiu verkas romanon en la japana lingvo pri Zamenhof, kiu poste do aperigis la originalojn de Zamenhofaj verkoj.





## 藤本達生の『続きもので読みもので』

さて、たしかに2005年は(第1回エスペラント世界大会から100年という)記念の年ですが、しかし強烈な衝撃の年でもあります。それらの衝撃の一つは、いとう・かんじさんの逝去でしたね。

L: そうですね、あの、いとう・かんじさんはその著作の広がりがありにも大がかりだったという単純な事実から、グラボウスキ基金の受賞者ではなかったのですが、グラボウスキ基金の比較的少額の賞金ではふさわしくない、あるいは十分ではないかも知れませんね。しかしいとうさんはその生涯のうちファーム財団の賞金を受けましたし、これはかなりの高額でした。2、3年前には、私も一役買ったのですが、アメリカの「エスペラント研究財団」もまた、いとうさんに奨励金を出しました。これでザメンホフ全集のうち未刊の2冊を刊行することが可能となったのです。いとうさんは多額の金を全集のためにつぎ込みましたが、ご自身が言ったとおり、しまいには懐が枯渇してしまいました。それらの重要な2巻も出ない危険もあったのですが、でも幸いなことにこのアメリカの財団のおかげで出せたのでした。

これは聞いたことですが、いとうさんは最後まで次の出版物にそなえて仕事をしていたといえます。私は、いとうさんは主としてザメンホフ全集全体にかかわる、いわばガイドブックを作ろうとしていたように思うのです。というのはいかにその仕事がすばらしいものであっても、その成果は巨大なのです。そこで人びとは、たやすく迷ってしまいます。つまり、もしザメンホフの何か特定の演説または文章、あるいは、まあ言ってみれば、グラボウスキに書いた手紙とかをほとんど60巻に近い本の中から見つけ出すのは、ちょっとむずかしいことです。ですからザメンホフの著作集を見通す手引書が要るわけです。先にも言いましたが、いとうさんはおそらくは生涯の最後の日までそのことに携わっていましたが、いま私が希望することは、日本のエスペランティストたちがその仕事を完成することなのです。

B: いずれにせよ、それはまことに歓迎すべきことですね。私は思い出すのですが、いとうさんが受け入れたおそらくは最後の客の一人として訪ねた時、微笑みながら暗示するように言いました。「そう、著作集は完成した」しかし大会、1905年の第1回大会と結ばれたテーマが、いとうさんの関心の中心にあったようでした。

ところで、あなたは歴史家です。しかしウルリッヒ・リンスでもあります。正に文化活動にも取り組んでいる人なわけですからしてルドビ



Tacuo Huĝimoto:<<Felietone Feritone>>

Mi unue ne povis kredi, des pli, ke mi ne konis esperantistojn, kiuj konislin persone, escepte de Tacuo Huĝimoto.

B: Se vi konis la "Fenestron", vi jam konis ĉion.

L: Jes, la "Fenestron"! Nu kaj dekomence mi revis konatiĝi kun li, sed s-ro Fenestro ĉiam diris al mi, ke Ito Kanzi ne volas paroli kun esperantistoj, des malpli kun eksterlandaj esperantistoj.

B: Sed, tio poste ŝanĝiĝis, bonŝance.

L: Kiam mi revenis kelkajn jarojn pli malfrue al Japanio, tiam unu dimanĉon, mi promenis kun Tacuo Huĝimoto tra la centro de Kioto kaj subite li haltis antaŭ iu tute modesta japanstila dometo kaj diris. "Ah, cetere ĉi tie loĝas Ito kanzi, ĉu ni ne provu ĉu li estas hejme, ĉu ni sonorigu". Kaj do feliĉe li malfermis la pordon kaj enlasis nin, kaj tial mi havis la unikan ŝancon konatiĝi kun Ito Kanzi. Kaj poste mi eble 2 fojojn ankoraŭ revizitis lin.

B: Koran dankon pro tiu ĉi tute persona detalo. Ĉar nu jes, estis ŝajne komence iom malfacile kun li renkontiĝi...

L: Simple, kiel dirite, li rifuzis. Sed aliflanke, ekzistas en Japanio, ankaŭ la ebleco improvizi aŭ surprizataki. Ah ja, mi diris al li, "Pardonon ke mi surprizatakis vin", kaj poste li ofte kun rideto diris al mi, "Ah, do mi memoras pri via surprizatako". Sed li ĉiam ridis, li ĉiam ridis kaj neniam grumblis kontraŭ tio, ke mi surprizatakis lin.

B: Nu, mi ne surprizatakis lin. Fakte, estis por mi tre granda honoro, ke li atendis mian viziton, kaj nun nur mi bedaŭras ke ne realiĝis la revizito, pri kiu ni aludis en la fino de la renkontiĝo.

L: Ĉu vi intervjuis lin? ...

B: Kompreneble, kaj tio estas sondokumentoj pri tiu ĉi eksterordinara figuro...

L: Notinde, ke li sciis Esperanton bone, ankaŭ mi pensis, ekzistas multaj esperantistoj, kiuj ne volas paroli, precipe ne japanaj esperantistoj. Mi



## 藤本達生の『続きもので読みもので』

キートのあの著作集は歴史の研究家にとっても例外的な宝物ですし、それにまた、わがエスペラント文化に対する貢献でもあります。

L: そうです。十分に評価し、十分に賞賛するのは不可能です。事実、いとう・かんじさんの功績をまっとうに記述するには言葉が足りません。私は数十年にわたって、その活動を見守ってきました。私が東京にいて学生だった時、京都を訪ねたことがあり、そこには一人のエスペランティストがいて、日本語でザメンホフについての小説を書いていると偶然知ったのです。私は最初信じることができませんでした。いとうさんを個人的に知っているエスペランティストに会わなかったの、なおさらです。藤本達生さんを例外としてね。

B: もし、「窓さん」を知れば、もうすべてが分かったわけですね。

L: そう、「窓さん」ですよ。まあその、初めから私はいとうさんと知り合いになることを念願していたのです。ところが窓さんは私にいつも言うんです、「いとう・かんじさんはエスペランティストとは話したがらない、外国のエスペランティストとはなおさらだ」とね。

B: でもそれは、幸運なことにあとで変わりましたね。

L: 私が何年か後で日本に戻ってきた時のことですが、ある日曜日のこと、私は京都の街なかを藤本達生さんと散歩していたのです。すると急に藤本さんがとある何の変哲もない和風住宅の前で立ち止まって言ったのです。「あのですね、ここに、いとう・かんじさんは住んでいるんですよ。ご在宅かどうか試してみましょ。ベルを鳴らしてみます」で、仕合わせなことに、いとうさんは戸を開け、私たちを入れてくれました。そういうわけで私はいとう・かんじさんと知り合うチャンスを得たのです。その後、なお2度程は訪問したと思います。

B: いまの、まったく個人的な詳しいお話をどうもありがとうございました。と言いますのは、まあそうですね、どうやら初めのうちは、いとうさんと会うことはむずかしかったようですからね。

L: とまかく言いましたように、いとうさんは断っていましたから。でも別の面から言うと、日本には予約なしに行く即ち不意打ちをする可能性も存在しているのです。あ、そうだ、私はいとうさんに言ったことがあるのです。「不意打ちをすすみません」と。それであとではいとうさんはしばしば微笑みながら私に言ったものでした。「ああ、あなたの不意打ちのことは憶えていますよ」しかし、いとうさんはいつも笑っていましたね。いつも笑っていて私が不意打ちしたことに対



Tacuo Huĝimoto: <<Felietone Feritone>>

konas multajn, kiuj flue skribas kaj perfekte konas la gramatikon, sed kiuj balbutas. Sed li estas tute alia, eĉ sen kontakto kun esperantistoj, li tute flue parolis.

B: Li flue parolis! Li estas varma, tre ĉarma, iom olda sinjoro, almenaŭ tiam, kiam mi konatiĝis kun li.

Koran dankon, ke vi volis interŝanĝi kun mi kelkajn rememorojn, ankaŭ pri tiu ĉi, elstara figuro de nia komunumo.

(Pola Radio la 27an jan. 2006: tekstigita de Hideki Harada)

B: Barbara Pietrzak

L: Ulrich Lins

Adamo Goralski: vidu UEA-Esperanto ĉe p.214 oktobro 2005

Laŭlum: 李士俊 (国際世界語研究院院士)

Komento de Mine Yositaka, Δiriano de Grabowski Premio: Premiitoj en 2005 estis Roman Dobrzynski kaj Ulrich Becker. Laŭlum estis premiita en 2004.

新刊『エスペラントはこうして話す』

藤本達生 著

第54回関西エスペラント大会記念品 / 2006年6月10日第1版発行

第54回関西エスペラント大会の大会記念品として、藤本達生氏著作本『エスペラントはこうして話すーエスペラント会話の実際』が発行されます。藤本氏の半世紀以上にわたるエスペランティストとしてのエッセンスがふんだんに詰め込まれた必読の書です。

ぜひ、関西大会に参加して、皆さまのお手元におかれることをお勧めします！

大会期間：2006年6月10日（土）～11日（日）

会場：英知大学

兵庫県尼崎市岩王子2丁目18-1

問い合わせ：第54回関西エスペラント大会組織委員会大会事務局 電話・FAX 072-721-8303



藤本達生の『続きもので読みもので』

しては決して苦情は言いませんでした。

B: まあ、私は不意打ちはしませんでしたね。事実、私にとって大変名誉なことに、いとうさんは私の訪問を待っていてくれました。ただ、今となって残念なことは、再訪が実現しなかったことです。出会った時の終わり頃には、そのこともほのめかしてはいたのですが。

L: インタビューはなされたのですか。

B: もちろんです。そしてそれは、このただならぬ人物についての音声ドキュメントなのです。

L: 特筆すべきことは、いとうさんがエスペラントをよく知っていたことです。思ったことがあるのですが、話しながら多くのエスペランティストたち、なかでも日本のエスペランティストたちが存在するのです。スラスラと書き文法は完全に知っている、だが話すと片言・・・という多くの人を知っています。しかし、いとうさんはまったく違っていました。エスペランティストたちとの接触がなくてさえ、流暢に話したのです。

B: 流暢でしたね。いとうさんは温かくて、非常に魅力がありました、幾分お年を召されてはいましたが、少なくとも私が知り合いになった時はですけれども。

この、私たちの共同体の、とびぬけた人物についても、いくつかの思い出を交換して下さい、どうもありがとうございました。

(ポーランド放送2006年1月27日放送分より/テープ起こし: 原田秀樹)

アダーモ・ゴラルスキ氏: 詳しくはUEAの『Esperanto』誌2005年10月号214ページ参照

ラウルム氏: 本名、李士俊。エスペラント学士院会員

グラボウスキ賞審査員の峰 芳隆氏のコメント。「2005年の受賞者はロマン・ドブジンスキ氏とウルリッヒ・ベッカー氏。ラウルム氏の受賞年は2004年」

## Er'renzhuān, folkloro opero kun densa loka koloro

Eksterlanda raportisto: Wu Guojiang

Ĉu vi aŭdis kaj spektis la ĉinan folkloran operon Er'renzhuān (Er'renzhuān)? Ĝi estas kanta kaj danca dueto kaj naskiĝis en la Nordorienta Ĉinio en la 18-a jarcento. Unu el la reliefaĵaj karakteroj de Er'renzhuān estas unu aktoro kaj unu aktorino. Tamen en la frua periodo Er'renzhuān ne havis aktorinon kaj tiu rolo estis alivestita de aktoro.

Er'renzhuān origine formiĝis sur bazo de Bengbeng, malgranda popola folkloro opero kiu cirkulis en Jilin-provinco. Post fondiĝo de Nova Ĉinio Bengbeng estis renomita Er'renzhuān. La roluloj havas ventumilojn, mantukojn kaj bambuklakilojn en siaj manoj kiam la prezentado estas akompanata kun Banhu, arĉo-ŝnura instrumento, kaj Suona trumpeto, lignotuba instrumento, kaj bambuklakiloj. En la jaro 1955 aktorinoj iom post iom multiĝis, kaj finiĝis la historio, ke la aktoro alivestis aktorinon. Eminentaj aktoroj devas esti virtuloj en kvin flankoj, nome parolado, kantado, dancado, prezentado kaj imitado.

Antaŭe Er'renzhuān havis kaj bonan kaj malbonan enhavon. Sed post la 60-aj jaroj de la 20-a jarcento la laboro de skribo kaj reĝisorado estis forigita, kaj nova listo de Er'renzhuān ekspluatita, kaj muzika akompano grandege riĉigita, vestoj kaj ornamoj plibonigitaj, dancado kaj arto riĉigita, kaj manaj rekvizitoj estis ŝanĝitaj.

La famaj programoj de Er'renzhuān enhavas Verŝadi akvon antaŭ ĉevalo, Returnadi tason, Baogong-a pardonopeto, Ambaŭ en ĉevalo-konkurso, Akvo inundis Lanqiao-ponton, Fengkui

## 郷土色の濃い民俗オペラ、エルレンチュアン

海外特派員 Wu Guojiang

中国の民俗オペラ、エルレンチュアンについて見聞きされたことがありますか？

それは18世紀に中国東北部で生まれた歌と踊りのデュエットです。その特徴は、男女一人ずつが演じることです。初めは女優ではなく、男優が変装して女性の役を演じていました。

エルレンチュアンは、ベンベンという名の吉林省で演じられた郷土の民衆オペラから生まれました。新中国が誕生してからベンベンはエルレンチュアンと改名されました。出演者は、扇とハンカチーフと竹の鳴子を手に持って演じます。そして弦楽器、トランペット、木管楽器、そして竹の鳴子が伴奏します。1955年から徐々に女優の数が増え、男優が変装して女性の役を演じることは無くなりました。名優はせりふ、歌唱、舞踊、表現、ものまねという五つの面で達人でなければなりません。

以前はエルレンチュアンの内容には良いものもあり、つまらないものもありましたが、1960年代に脚本や演出の仕方に分派が生じて、エルレンチュアンの新しい演目が開発され、伴奏の音楽が大幅に豊かになり、衣装や舞台装飾が改良され、舞踊も芸術性も豊かになり、手にする小道具も変化しました。

エルレンチュアンの有名な曲目としては「馬の前に水を注ぐ」、「皿回し」、「Baogong 許しを乞う」、「二頭の競走馬」、「Lanqiao 橋の洪水」、「妻を売る Fengkui」等があります。これらの曲目は長く人気があります。

vendanta sian edzinon ktp. Ili estas longe bonvenigitaj de amaso.

Zimbalono, Pipa (ĉina nacia muzik-instrumento) estas aldonita al la muzika akompano, samtempe estas uzitaj tamburo, gongo kaj cimbalo. Ankaŭ koloraj ombreloj, gaztukoj kaj longaj silkaĵoj estas aldonitaj al manaj rekvizitoj.

Er'renzhan ĉiam persistas en tia tradicio malaperigi la trivialan kaj abomenindan prezentadon kaj disvolvi la sanan kaj humuran prezentadon. Sed en la 90-aj jaroj kaj en la komenco de la 21-a jarcento. Kelkaj lokaj grupoj aldonis aĉajn enhavojn al tiu ĉi arto por la nomata granda ekonomia efiko. Tio grandege malhelpis al disvolviĝo de Er'renzhan. Nemalmultaj personoj opinias, ke ĝi estas triviala arto.

Zhao Benshan, ĉina fama humura majstro kaj komediisto el Er'renzhan, persone reĝisoris kaj prezentis serion da televida komedio Liu Gaogen por purigi, disvolvi kaj altigi tiun ĉi arton. El la komedio oni vere scias la ĉarmon de Er'renzhan. Lastatempe la turneo de Er'renzhan organizita kaj iniciatita de li estas prezentata en la tuta lando. Oficiale eldoniĝis la unua libro Arkivo de Er'renzhan kompilita de Huo Changhe kaj Jin Fang kiu tutflanke kaj aŭtentike protokoligis kaj resumis hieraŭ kaj hodiaŭ de Er'renzhan.

Er'renzhan, folkloro arto el la nordorienta Ĉinio, sukcese iris de la nordorienta Ĉinio al la tuta Ĉinio, de kamparo al urboj sub la komuna klopodado de generacioj da artistoj kaj aktoroj, kaj jam fariĝas arta formo eleganta kaj populara, influo-vasta kaj bonvenigata kaj flatata de popoloj. Er'renzhan havos plibelan estontecon.



ティンパロンとピパ(中国独特の楽器)が伴奏に加えられました。また、太鼓、ドラ、シンバルも使われます。彩色された傘、紗の布、絹の長い布を手に持ちます。

エルレンチュアンは常にこの伝統を堅持し、陳腐ないやらしい演目を外して、健康的なユーモアのある演目を繰り広げます。

しかし90年代から21世紀初頭にかけて、各地のグループの中には、大きな経済効果のために、この芸術にくだらない内容を付け加えたものがありました。このことはエルレンチュアンの発展を大きく妨げました。それはつまらない芸術だと言う人が少なくありません。

有名なユーモアに満ちたコメディアンであるZhao Benshanというエルレンチュアンの名優がこの芸術を高めるため、テレビで「Li Gaogen」というコメディのシリーズを演出し、自演しました。このコメディを見て人々はエルレンチュアンの魅力を本当に知りました。最近、彼は全国を巡業することを企画し、それに着手しました。Hu ChangheとJin Fangの編纂による「エルレンチュアンの古文書」という本の初版が正式に出版されました。それは全面的に紛れなく、エルレンチュアンの今昔を要約したものです。

中国東北部の民衆芸術エルレンチュアンは、芸術家と俳優が何世代も努力を重ねたおかげで、田舎から都市へと中国全土に広がりました。優雅で人気のある芸術の姿になり、広い影響力があり、好評を得て、みんなに愛されています。エルレンチュアンには美しい未来があります。(訳:田中雅道)

## EPA 事務局便り

### EPA 認定級試験合格者

4月23日付 交付（2006年第16回国際エスペラント合宿にて実施 H18.4.23）

Dua	2級	佐藤正太郎	Ŝootaro Sato	福岡
Kvara	4級	宮本 昭子	Akiko Mijamoto	〃
	4級	八村 房子	Husako Haĉimura	〃
Kvina	5級	平野 満	Micuru Hirano	〃
	5級	岩河 祐介	Jusuke Iŭakaŭa	〃

5月10日付 交付（大本北陸本苑ミニエスペラント講習会にて実施 H18.4.29）

Unua	1級	金子 藤央	Huziou Kaneko	石川
	1級	金子 暁美	Akemi Kaneko	〃
	1級	上山 明代	Harujo Kamijama	〃
Dua	2級	黒杉 啓子	Keiko Kurosugi	〃
Kvara	4級	岩田 和美	Kazumi Iŭata	〃
	4級	岩田 やよい	Jajoi Iŭata	〃
Kvina	5級	岩田 和美	Kazumi Iŭata	〃
	5級	岩田 やよい	Jajoi Iŭata	〃

5月10日付 交付（綾部にて実施 H18.5.4） 大阪

Kvara	4級	梶本 佳織	Kaori Kazimoto	
-------	----	-------	----------------	--



亀岡天恩郷・郷内講座のご案内

月曜昼  木村且哉 rudimenta  
(Kacuja KIMURA)  
入門・初級クラス

火曜夜  小藪資史 rudimenta  
(Motofumi KOJABU)  
入門・初級クラス


水曜昼  松本公夫 rudimenta  
(Kimio MACUMOTO)  
入門・初級クラス

水曜夜  川地善則 komencanta  
(Jošinori KAŮAČI)  
初級クラス

木曜昼  平岡 康 rudimenta  
(Jakkun HIRAOKA)  
入門・初級クラス

木曜夜  鬼塚義彰 rudimenta  
(Jošiaki ONICUKA)  
入門・初級クラス

金曜昼  奥脇俊臣 paroliga  
(Tošiomi OKUŮAKI)  
初級クラス

金曜昼  西永篤史 paroliga  
(Acuši NIŠINAGA)  
会話クラス

金曜夜  大和田さち rudimenta  
(Sači OOŮADA)  
入門・初級クラス

2006年1月より亀岡天恩郷の郷内講座は、参加費はそのまま月曜～金曜日までのどのクラスでも「いつでも何回でも受講し放題!」となりました。

遠近各地からのご参加を講師一同、心からお待ちしております。

(受講ご希望の方は事務局まで)



Lasu al mi ion diri !

読者の皆様からの声を募集しています!

近況報告、提案、呼び掛け、面白いニュース、本誌への要望、写真等、なんでもけっこうですので、どしどし事務局までお送り下さい。実名、匿名、リングネーム、なんでもo.k.です!

FAX: 0771-25-0061 e-mail: officejo@epa.jp

## EPA 事務局便り

### EPA 講師一覧 (あいうえお順)

1	吾郷 孝志	28	高瀬 順亮
2	井頭 ますみ	29	高野 春樹
3	伊藤 欽介	30	竹原 如是
4	大久保 良	31	田中 雅道
5	大和田 さち	32	田平 正子
6	奥原 能	33	田淵 八洲雄
7	奥脇 俊臣	34	出口 京太郎
8	鬼塚 義彰	35	長井 順一
9	加賀見 明男	36	長井 小文
10	筧 邦麿	37	中野渡 光昭
11	鹿子木 旦夫	38	中原 榮子
12	Charles Rowe	39	中村 勲
13	川地 善則	40	西永 篤史
14	川村 泰範	41	西野 祥隆
15	木野 榮二	42	碓 大福
16	木村 且哉	43	平井 淳
17	後藤 純子	44	平岡 康
18	小林 正幸	45	平野 清享
19	小藪 資史	46	藤代 和成
20	斉藤 延	47	藤本 達生
21	斉藤 泰	48	前田 茂樹
22	坂下 正昭	49	松永 梅男
23	坂本 弓代	50	松本 公夫
24	塩崎 温美	51	村田 孝子
25	塩谷 誠	52	森下 峯子
26	Joel Brozovsky	53	矢野 裕巳
27	曾田 美喜子	54	山本 鳩江
		55	Rikardo Newsum

講師の方で上の一覧表に掲載されていない方は、お手数ですが、EPA 事務局までご連絡下さい。

FAX: 0771-25-0061 e-mail: [officejo@epa.jp](mailto:officejo@epa.jp)

## Lasu al mi ion diri !

5月9日はEUが「欧州の日」と定めた日。

香川の三好鋭郎氏がこの日にあわせて、フランスの有名全国紙(日刊)「ル・フィガロ」に全面広告を出されました。

見出しは「欧州の英語化、誰の責任？」(和訳)。

第二次大戦前、エスペラントが当時の国際連盟で公用語に採用される寸前までいったことがありました。

国連事務次長を務めた日本の新渡戸稲造(にとべ・いなぞう)が中心となり、エスペラントを採用させようと活動した結果、1921年の国連総会で同決議案が採択されることとなり、当時の国連全加盟国(44カ国)が賛成。しかし、最終的には、(フランス語を外交上の主要言語にしたいと考えていた)フランス国政府が拒否権を発動し、廃案となりました。もし、あの日、フランスが拒否権を発動していなかったとしたら、エスペラントをめぐる状況は今日かなり変わっていたことでしょう。

5月9日付の「ル・フィガロ」では、そのような歴史を、著名な英国人言語学者ロバート・フィリップソン氏が三好氏のインタビューにこたえる形で掲載。今日欧州で深刻な言語問題を解決するためにはエスペラントが良いことや、政治家の決断次第ですべての国民の平等なコミュニケーションが可能となることなどが、具体例をまじえて説明されています。

現在、EU加盟国は25カ国となり、そのほとんどが非英語圏の国々。EUでは欧州統合の推進役となってきたフランスとドイツの影響力が大きいだけに、両国の動きが今後のかぎを握っています。

この「ル・フィガロ」全面広告は、“欧州の英語化は、戦前にエスペラントの公用語化を阻んだフランスにこそ責任がある”ことを、広くフランス国民に訴えています。同紙はフランス有数の日刊紙ですので、今後の反響が期待されます。

「ル・フィガロ」の全面広告内容は、下記のホームページで、フランス語とエスペラント訳でご覧になれます。

[www.swany.co.jp/phillipson/](http://www.swany.co.jp/phillipson/)

以上、情報まで。S・H

## EPA 支部便り

EPA「第16回国際エスぺラント合宿」のご報告  
- - 北九州で2年に一度開催のエス合宿 - -

去る4月22、23日、第16回エスぺラント国際合宿が筑紫本苑を会場に開催されました。韓国からの14名を含め参加者は乳幼児、スタッフを含めて総勢50名となりました。日本国内からも地元だけではなく熊本、大阪、京都、名古屋からの参加がありました。

22日、釜山から高速船で博多港国際ターミナルに昼前に到着した韓国の参加者は、迎いの松永EPA講師や筑紫青年部5人のメンバーの歓迎を受け、港近くのレストランへ。昼食の後、車で北九州市の会場へ移動、午後2時半に会場入りしました。

午後3時より大本筑紫本苑の神前広間にて開講式。引き続き5つのクラスに分かれて5時まで学習。夕食後8時半より交流会を開催。エスぺラントによるピンゴゲームや、能管の演奏に謡い、韓国の昔話、エスぺラントグッズのオークションなど参加者全員が楽しい雰囲気になり盛り上がりました。夜は、飲み物やおでんを囲みながらの賑やかなバラディーゾに、合宿初参加の方々も辞書を片手に、エスぺラントはもちろん日本語、英語、手や体全体で表情豊かに深夜まで会話を楽しんでいました。

23日、朝食後記念写真撮影。昨日までの雨もあがり、よい天気になりました。引き続き「順送り自己紹介」。長机を挟んで中級者と初心者の列が対面して自己紹介。5分たったら順次隣に対話相手が替わって最初からまた自己紹介。同じことを何度も繰り返しますので初心者もだんだん慣れてきました。その後昼まで班別学習。昼食、EPA認定試験(希望者のみ)、感想文を書いたのち、午後2時に閉講式。各代表挨拶のあと日韓両国からそれぞれに記念品の贈呈、合宿旗が韓国側に渡され、最後に記念写真を受け取りすべてのプログラムが終了しました。

この後韓国からの参加者は観光と夕食のため門司港レトロへ出発、翌日は市内のショッピングエリアを訪問した後、博多港国際ターミナルより笑顔で帰国されました。

報告 / 松本 朗 (アキラ)

E-mail : mtmt@mx1.harmonix.ne.jp

## EPA 支部便り

### 「第16回国際エスペラント合宿」参加者の感想より

思いがけない人に会ってたっぷり話が出来ました。大本の落ち着いた雰囲気の中で十分に命の洗濯が出来ました。エスペラントによる韓日の友好のこの場を両国の人達に知って欲しいです。エスペラントを学び続けて少しでも覚えた分だけ楽しさも増すと思いました。この集まりのお世話をして下さいの方々に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。(大阪)

初めて参加させていただき、とても刺激になりました。もっともっと勉強して早くみなさんの様に会話ができるようになりたいです。たった二日間でしたが、“ユンコ先生”のご指導と友等との楽しい語らいにとても心なごみ、また2年後の国際合宿、いや来年の横浜での世界大会には筑紫の友等と少しでも成長した私達で逢いたいと思っています。Dankon!(福岡)

自分にとっては精一杯勇気を出して参加させていただきました。Esperantoで声をかけられ逃げ出してしまい、後悔もしましたがやっぱり来てよかったと思います。Esperantoの飛び交う中に身を置いて、早く理解でき話せるようになりたいと尚一層思いました。たくさんの方々にお世話になりました。ありがとうございました。(福岡)

Estis tre ĝoje kaj signifoplene, ke mi povis partopreni en ĉi tiu kurskunveno.

Unue mi elkore dankas la oomotanojn por tre bonkora zorgo kaj sindonema servo. Ĉiu manĝaĵo estis tre bongusta!!

Lernado de la konversacio estis en tre bela atmosfero kaj la gvidanto, d-ro 金永明 estis tre kara kaj lia parolado ankaŭ estis multe interesa.

En mia ĉiutaga vivo mi ne multe havas ŝancon paroli nian lingvon kaj estis forgesema je vortoj, sed pli kaj pli kutimiĝis esti parolema! Estis bone, ke mi povis renkonti multajn koreajn samideanojn.

Kun koraj dankoj! (福岡)

## EPA 支部便り

Vere internacia estis la Kurskunveno kun koreaj kaj japanaj esperantistoj.

Mia speciala ĝojo estis revidi HOPE Kim kaj Junko, kun kiuj mi jam de longe amikiĝas.

Mi tre miris, ke la komencantoj ambaŭlandaj tre kuraĝis lerni fervore.

Ankaŭ junuloj ne mankis. Mi trovis esperon en mia naskiĝurbo Kitakjuŝu, kie mi kreskis kiel esperantisto.

Esperanto daŭre vivas kaj vivos en Koreio kaj Japanio de generacio al generacio!

Dankon al la sindonemaj organizantoj, kiuj jam 16 jarojn senpaŭze laboradis por la ideo de Zamanhof. ( 京都 )

Estas unua fojo, ke mi vizitas Japanion.

Ĉiu lando havas kvietan imagon, trovante antaŭokule ĉi tiun vidaĵon, mi estas kaptita de beleco. La homoj de Japanio estas agrablaj kaj afablaj. Dum la kunveno mi estas tre ĝoja.

Mi ankoraŭ estas komencanto kaj mi ne povas interparoli kun aliaj personoj multe. Rigardante diligentecon de Esperantistoj, mi kuraĝas plue.

Speciale, ĉi tiu loko estas religia, mi vidis ĉion kunsankte.

Verdire, mi timis mian mallertecon de miaj vortoj. Nun mi gajnas kuraĝon, kiu malfermis pordon de mia koro.

Mi ne estas junula, sed estas infana. Helpite de ĉi tiu fojo, mi klopodos studi Esperanton diligente. Mi ŝatas paroli multe, sed mi ne povas paroli, ĉar mi nenion scias.

Mi dankas al ĉiuj, kaj volas rerenkontiĝi poste. ( 韓国 )

Dankon al ĉiuj gvidantoj kaj organizantoj pri sincera bonvenigo. Ĉi-kurskunveno estas speciala kaj gaja sperto.

Ankoraŭfoje mi dankas al vi. p.s. Bonvenon ! La 17-a Internacia Esperanto-Kurskunveno en Koreio. ( 韓国 )

Ĉi-vojaĝo (Kurskunveno) estis unuafoja fremdlanda vizito por mi. Do, mi dankas al Esperanto.

Japanoj estas tre afablaj. Mi dankas al samideanoj de Japanio. Se japanoj vizitos Koreion, mi volas konduki vin. Tiuokaze serĉu min, mi petas! Venu al urbo Jinju( 晋州 )! Refoje mi deziros viziti Japanion. Ĉiuj manĝaĵoj estis tre bongustaj. Poste mi volas renkonti samideanojn de Japanio. Mi tre dankas al Junko, d-ro Kim(HOPE Kim), MATUMOTO Akira, ktp.

Ĝis revido karaj gesamideanoj! Dankon.( 韓国 )